静 原 小

学校通信 １０号

平成２８年１２月２２日
京都市立静原小学校
校長　　林　　久徳

「体験」から「まなび」へ ，そして「力」に

校長　林　久徳

静原小学校では生活科や総合的な学習の時間，学級活動の時間などを使って１年生から６年生まで様々な作物を育て，収穫しています。その中で，例年５・６年生は米の栽培を通して学習を進めています。５年生の社会科では日本の代表的な作物である米作りの盛んな地域を取り上げ，その仕事の様子，流通の仕組み，問題点などを考える学習があります。その関係もあって，日本中の多くの学校で米作りを学習に取り入れています。校区に田のない学校では，バケツで育てたり，校区外の農家にお願いして，田植えや稲刈りの体験をさせていただいたりしていることが多いです。

本校では幸いなことに，身近に多くの田があり，学校専用の土地をお借りすることもできています。他校と本校の違いは右の写真でもわかるように，米作りの多くの行程を実際に行うことができるところにあります。これは何を意味しているかというと，本校の目指す米作りは体験であってはいけないということです。田植えや稲刈りができるように農家の方にお膳立てしておいていただき，その場だけその作業を一部やらせてもらう。これはその場限りの「体験」でしかありません。そこからは子どもが困りを抱えることはありません。困りを抱えること，例えば，「土が固くて耕せない」「草が多くて抜ききれない」「米に虫がついている」「病気にかかってしまった」など。自分たちが主体者として取り組んでいるからこそ見えてくる困りを抱えることが大切だと思っています。「土が固くてどうしても手作業では無理だから地域の方に協力してもらおう」「虫がついた時には何か薬が必要なのか調べてみよう」など，その解決のために一歩踏み出す力を育みたいと思っています。そうなってこそ，「体験」が「まなび」となり，それを乗り越え，次のステージに向かってこそ「力」となると思うのです。

そんな理想，偉そうなことを言っていても，十分ではなく，農家の方からすれば目に余ることもあり，お叱りを受けることもありますが，子どもたちがこの学習を通して，体験以上の「まなび」や「力」の獲得に向けて歩んでいけるように，学習を組み立て，指導していきたいと思っています。わたしもいただいた「感謝の会」でのおにぎりは本当においしかったです。お世話になった地域の皆様，ありがとうございました。

人権集会

自由参観日の午後，「お隣の国～コリアについて知ろう！食文化について知ろう！」，お隣の国の食文化の似ているところ違うところに気づき，理解・受入れをしていく中で，人と仲良くしていこうという事について考えました。

実際には，チヂミやキンパの作り方を教えていただきながら作り，試食しました。おいしい活動をしながら，文化は違ってもいいところがあること，人と仲良くしていこうという事が実感できました。

マラソン大会

予定日は雨のため延期となり，予備日の前日も雨が降り，実施できるか心配されましたが，快晴のマラソン大会となりました。日陰は，寒い風が吹き抜けますが，日なたは暖かさも感じられました。児童は，周回を重ねていくごとに，上着を脱いでいきました。応援の方も気持ちの良い晴天のもと声援を送っていただいたことと思います。

事前のマラソン練習タイムは，１０分間ではありますが，その１０分を一定のペースで走りきることの積みさねがあってこそ本番の４５分を走りきることにつながります。

しめ縄つくり

今年も，地域の方々にお世話になり，しめ縄づくりをしました。自分の使う藁は自分で準備。事前にわら掃除をして，作業しやすいように個々に準備しました。十分に準備をしていると，しめ縄を作るという意識も高まり，主体的に，目的意識を持ち，取り組む姿がたくさん見られました。地域の方々に教えていただくだけでなく，「今年は，自分だけの力で２つ作れた」とか，「来年は，自分だけの力でやり遂げるようにしたい」という感想の発表もありました。「一つ目は教えてもらったけど，２つ目は自力で作れた」という１年生もいました。しっかり教えていただき，手元を見るとか，見本を見てイメージをつかむなどして，自分でやり遂げようという意識をもって取り組めました。

感謝の会

米作りの感謝の会を開きました。お世話になった地域の方々におにぎりや大根のみそ汁をふるまおうと計画しました。感謝の気持ちを伝えるために一人一人の方に色紙の寄せ書きを渡しました。

また，今までの米作りの様子を紙芝居にして感想とともに伝えました。歌やリコーダーの演奏のプレゼントをしたり，塩むすびをその場で作ってみそ汁と一緒に食べたりしました。「こんなおいしいおにぎりは久しぶりに食べた！」と言っていただけて子どもたちもうれしそうでした。地域の方々とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。